



1998年4月に循環器疾患の専門病院としてスタートし、専門医を中心としたチーム医療を実施している

高度な治療にも対応。道内屈指の手術件数を誇る循環器系疾患の専門病院



- ①地域の健康ステーション的な役割を担う。現在、入院病棟99床、人工透析22床を有する
- ②解像度が高い最新のフラットパネルの血管造影装置
- ③撮影時間が短く高度な解析が可能な64列マルチスライスCT

「患者さまの健康な生活を支えることを目的として、患者さま中心の良質な医療の提供を」を理念に、循環器系疾患の専門病院として、地域に密着し専門医による高度な医療体制を構築する、新札幌循環器病院。緊急対応が必要な急性心筋梗塞や狭心症、大動脈疾患などには日夜を問わず随時受け入れる体制を整え、また、道内では数少ない、高速回転冠動脈アテレクトミーでの高度石灰化病変に対する治療を提供。血管が瘤（こぶ）のように膨らみ、破裂すると致命傷になる大動脈瘤には、通常の人工血管置換術に加え、ステントグラフトを用いた血管内治療を積極的に実施。体への負担を極力減らし、1〜2週間程度の入院で社会復帰ができるよう努めている。

2010年12月には大動脈弁膜症に対し、東邦大学の尾崎重之教授の協力を得て、自己心膜を用いた大動脈弁形成術を道内で初めて行い、良好な成果を収めている。その後、この術式はさまざまな利点が見られ、世界中に広がっている。不整脈に対するペースメーカー治療や除細動器の植え込み、重症心不全に対する心臓再同期療法も症例が増え、道内でも屈指の症例数を誇る。また足の冷感やしびれなどで発症する末梢血管や静脈瘤に対する治療を加えると、総手術件数は年間700例を超える。

心臓血管外科・循環器内科・腎臓内科・人工透析内科・胸部外科・リハビリテーション科

医療法人 サンプラザ

新札幌循環器病院

☎011-892-1556

札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9-25

<http://www.sshoc.jp>

受付時間／

平日 8:45～11:30 13:30～16:30

土曜 8:45～11:30

※循環器救急のお問い合わせは24時間対応

※夜間透析あり

休診日／日曜・祝日

最寄りアクセス／

地下鉄新さっぽろ駅5番出口・JR新札幌駅・新札幌
バスターミナルから徒歩約5分



院長
神吉 和重氏

1989年防衛医科大学卒業。
ドイツ心臓センターベルリン、
札幌大第二外科などを経て、
2009年新札幌循環器病院
心臓血管外科部長、16年7
月より現職。医学博士